



広重版画より 三島 朝霧

第2376回例会

2024.2.1晴

司 会

前田房江君

国歌斉唱

四つのテスト

Q-タリ-ソング

「奉仕の理想」
指揮 小塚英樹君

会長挨拶

会長 平出利之君

苗栗RCの交換中学生研修事業が一週間の日程で実施されましたが、国際奉仕委員長を中心に多くのメンバーに協力して頂きまして、誠にありがとうございました。中でもホストファミリーを引き受けてくれました加藤さん・古屋さん・清水さんありがとうございました。何よりも無事に終わった事が一番だと思います。今回私が印象に残った笑顔が2つあります。1つは日本に着いた後、遅いからホストファミリーの家に行かないで昭明館に泊まる事を聞いた学生が喜んだ笑顔です。きっと初日だから不安だったと思います。そこに仲間と一緒にホテルに泊まれる喜びが、笑顔になったと思います。2つ目は、予定になかったんですが、藤江さんのご配慮で議会の議場に入らせてもらい、議長席に座らせてもらい写真を撮っていた時です。次回から議場の見学を研修日程に入れる事をお勧めしたいと思います。国際奉仕委員会で今回の反省点等を書き留めておいて頂くよう、お願い致します。皆様のご協力感謝します。ありがとうございました。

出席報告

	出席総数	出席率	メ ッ ク	修 出 正
前々回	43/52	82.69%	44/52	84.62%
今 回	36/50	85.71%	会員総数	53名

欠席者 芦川君、加藤君、川名君、窪田君、栗原(達)君、栗原(康)君、清水君、椛山君、須田君、諏訪部君、千葉君、藤江君、増田君、森藤君

おめでとう

会員誕生日 関本(文)君

表彰



ポール・ハリス・フェロー 木村安紀夫君

幹事報告

- 1.本日例会の卓話は仲田崇浩君です。よろしくお願いします。
- 2.次回例会は、2月8日夜間例会18:30より呉竹で、卓話は職業・社会奉仕委員長 秋山恭亮君です。
- 3.先週の苗栗交換中学生研修事業で、交換中学生の事業に直接的に参加した方は時間・日数に関わらず1回のメイクアップ扱いいたします。
- 4.今回の苗栗交換中学生研修事業は、コロナ禍でやむ無く実施することができなかった期間を含め38回になります。
- 5.地区より令和6年能登半島地震の義援金の依頼がありましたので、災害等寄附金より1人1000円を寄附いたします。

スマイルボックス

- ◆ 関本(文)君、過日は「卒寿のお祝」を盛大に行っていたいただき誠にありがとうございました。今日、元気に満90歳の誕生日を迎え三嶋大社で健康祈願を行って来ました。これもひとえに皆様方のご支援のお蔭であり、心より感謝とお礼を申し上げます。これからは、百寿を目指して頑張りますので、よろしく願います。尚、発起人の皆様と会を盛り上げてくれた、オヤジバンドの皆様は心からお礼申し上げます。
- ◆ 野田君、2月からフィットネスクラブに通うことにしました。3日坊主にならないことを願うのみ。貯金でなく貯筋の為に。

卓話

自己紹介

仲田崇浩君

(株)仲田鉄工所の仲田です。

初めての卓話ということで、まずは簡単な自己紹介をさせていただきます。

私は昭和46年2月17日生まれ、もうすぐ53歳になります。生まれも育ちも清水町柿田です。小中高まで今の柿田の自宅で両親から大事に大事に育ててもらい、大学生になって初めて家を出て、4年間東京で過ごしました。

東京でも遊んでばかりで、最初は姉と住んだのですが、夜遊びするとか、女の子を連れ込むとか、怒られてばかりで、その後3年4年は八王子で一人暮らしをしました。大学2年の年にイギリスのダラム大学という大学に一年間留学しました。あまり聞き覚えがないと思いますが、イギリス人の記者で、「むじな」など日本の怪談を世界に広めた小泉八雲(ハトリック:ラフカディオ:ハーン)が学んだ文系の伝統ある大学です。こちらで一年間過ごしたわけですが、留学とは名ばかりで遊んでばかりで、夏休みにはF-1グランプリを二週間おきに開催されるイギリス→ドイツ→ハンガリー→イタリアとヨーロッパを追いかけ、その合間の二週間に西ヨーロッパ各国、今のEUのほとんどの国の名所旧跡を観光しながら旅をするという、今から思えば夢のような時を過ごしました。女性も...卒業して地元に戻り、最初の一年は弊社のメインのお客様であります芝浦機械様で最大の事業部であります、工作機械事業部第一機械科で一年間修業をさせて頂き、その後会社に戻り、以後30年社業に従事しております。

卒業と同時に弊社が組合員になっております、芝浦機械協力組合の青年部に入会しました。そこで出会った先輩というのがまたクセのある方ばかりで、厳しくも愛のある、お相撲さんの「かわいかり」のような教育をうけまして、当時まだ学生気分が抜けない自分に、本当に厳しいご指導でしたが、社会人としての常識や社会の厳しさなどを教えて頂きました。

今でも組合青年部の先輩方には敬意と共に兄弟のようなお付き合いをいただき、公私共に大変お世話になっております。

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、一度結婚をして失敗しております。失敗は失敗ですが、素敵な副産物として、息子を二人授かりました。今は高校3年生と中学3年生の受験生です。

消防団

私は趣味はと聞かれると、ゴルフと消防団と答えます。消防団とは、消防組織法に基づき設置された市町村の消防機関で、消防団員は、日頃生業を持ちながら火災等の災害時には「自らの地域を自ら守る」という郷土愛護の精神をもって活動している特別職の準地方公務員です。私共清水町消防団は、町内を北部(第一分団)、中部(第二分団)、南部(第三分団)と三つに分け、それぞれの分団に32名、女性消防団の清風隊9名、団本部10名の115名で活動しております。手前みそになってしまいますが、令和3年に公益財団法人日本消防協会特別表彰「まとい」受賞という栄誉を授かりました。この「まとい」という賞は、国から各市町の消防団に授ける賞の中の最高賞で、120年余の消防団の歴史の中、県内で6団目、町の部では初の快挙です。

そんな伝統の清水町消防団ですが、私が入団したのは平成13年、29歳の時です。区長さんからのお誘いで説明会に参加しまして、そこで既に活動していた小学校の同級生らと再会し、懐かしさと、「任期は2年だから。」との甘い囁きで入団を決意したわけですが、それから数ヶ月のうちに一期が2年というだけで、最低でも6年、柿田の人は分団長まで強制なので最低10年という事を知りました。

そんなことで10年、第二分団の分団長まで勤め上げ、やっとな卒団というところで、団本部員の先輩から「一身上の都合により代わってくれ」と、「2年でいいから」と懇願されてしまい、これまた2年のつもりが気付けば14年です。

総務省の中にあります消防庁の「令和4年度消防白書」によりますと、火災の原因として最も多いのは「たばこ」で、2~5位はほぼ同数で「たき火」、「ガスコンロ」、「放火」、「放火の疑い」と続き、この「放火」と「放火の疑い」を合わせると「たばこ」を超える数字となります。今日皆さんにお伝えしたいのは、まず「たばこを吸わない」、それから「人から恨みを買わない」というこの二つだけで火災に遭うリスクを相当避けられるという事です。

最後に皆さまに大変お得な提案です。

全国的に消防団員が不足する中、国の制度で消防団協力事業所表示制度という制度があります。対象となる条件は簡単で、「従業員が消防団に入団している」、「従業員の消防団活動に配慮している」などです。

この制度の対象となれば、事業税の1/2に相当する額を上限100万円まで控除するというものです。ロータリアンの方皆さんご自身や、皆さんのご子息様はそれぞれにお忙しいでしょうから、会社の社員さんの中で若くて元気な方を消防団に一人推挙していただければ100万円ですから、ご興味のある方は、事業所の所在地の役所にお問い合わせください。

以上で卓話を終了させて頂きます。ご清聴ありがとうございました。

(週報担当:町野 暉)